

事後評価シート

調査研究課題名	高齢者の移動ニーズに対応した旅客運送サービスに関する調査研究
担当者	主任研究官 岩元崇宏、主任研究官 竹内龍介、研究官 金子希美
① 当初目標と目標達成度	<p>本調査研究は、NPO 法人等が実施する旅客運送サービスに関して、自家用有償旅客運送や許可又は登録を要しない運送の運営の実態や課題を把握し、持続可能なサービスを行うための工夫等について検討するとともに、今後のニーズの拡大等を見据えた現状整理を行うことを目的として実施した。</p> <p>本調査研究では、輸送サービスを実施する NPO 法人等の団体へアンケート調査及びヒアリング調査を行い、法的位置づけ等をもとに類型化し、類型毎の運営の実態、課題、持続可能なサービスを行うための工夫等を把握した。</p> <p>福祉有償運送のうち輸送サービスより収入の大きな事業・活動がある団体では、団体の他の事業・活動の人材・車両を輸送サービスに活用するとした団体で3年後の見通しについて継続が可能と回答する傾向がみられた。また、福祉有償のうち輸送サービスのみ若しくは輸送サービスが最も大きな収入の団体では、利用者数が多い団体で3年後の見通しについて継続が可能と回答する傾向がみられた。</p> <p>許可又は登録を要しない運送では、組織形態に着目すると地域内の助け合い等の活動として組織されている割合が多いことが考えられ、利用者数に着目すると小規模に活動する団体がサービスを提供している割合が多いことが考えられる。また、利用者数が多い団体で3年後の見通しについて継続が困難と回答する団体の割合が高い。</p> <p>本調査研究により、自家用有償旅客運送や許可又は登録を要しない運送の運営の実態や課題、持続可能なサービスを行うための工夫等について把握することができた。したがって、当初の目標を達成できたものとする。</p>
② 調査研究内容の妥当性	<p>本調査研究は、輸送サービスを実施する NPO 法人等の団体へ、アンケート調査及びヒアリング調査を行い、自家用有償旅客運送や許可又は登録を要しない運送の運営の実態や課題を把握し、持続可能なサービスを行うための工夫等について検討した。輸送サービスを実施する NPO 法人等の団体、特に許可又は登録を要しない運送を行う団体を対象とした全国的なアンケート調査は少なく、本調査研究の成果は NPO 法人等による高齢者を対象とした旅客運送サービスに関する検討を行うにあたって有効な情報を提供し得るものである。</p>
③ 調査研究の仕組みの妥当性	<p>調査研究を進める過程で随時有識者ヒアリングを実施し、有識者からご意見をいただいた。有識者は地域公共交通や福祉輸送に知見を有する方々にご就任いただき、様々な角度からご意見をいただいた。</p>
④ 成果と活用	<p>研究成果を記した報告書について、当研究所のホームページで広く公表することを予定している。</p>
⑤ その他	<p>当研究所が主催する研究発表会において、成果の一部について報告を行った。 NPO 法人全国移動サービスネットワークの主催行事にて成果の一部について報告を行った。</p>